ミャンマー

マイクロ水力発電技術普及・実証事業
株式会社北陸精機（富山県）

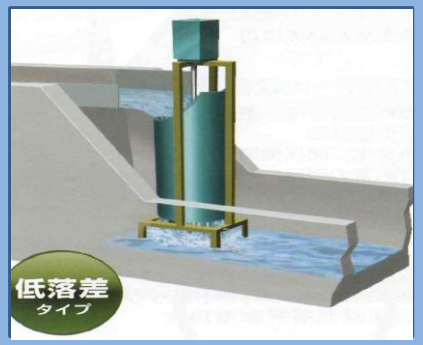
ミャンマー国の開発ニーズ

- ミャンマーの電化率は30%
- 人口の70%が住む居住する地方部の電化は4.0%に過ぎず、政府は村落電化を進めているが資金・技術が不足
- 灌漑用水路の落差工を用いたマイクロ発電による村落電化に適切な発電機が見当たらない。

普及・実証事業の内容

- 対象村落の社会経済調査実施
- マンダレ-管区キンダー一次灌漑用水路の二次用水路に沿ったミャウンジーボウン村にマイクロ水力発電機を設置する。
- ミャウンジーボウン村（120世帯）と近傍のプエロンジョー村（170世帯）を合わせ村落電化を行う。
- カウンターパート機関であるIWUMDの職員に対し発電機の維持管理及び設計に関する技術移転を行い、設置した発電装置の維持管理能力を強化する。
- ビジネスモデルを策定する。

提案企業の技術・製品



製品・技術名

ーパワーアルキメデス

ー少水量、低落差、高エネルギー転換効率マイクロ水力発電

ー持続的・自立可能村落電化

事業概要

相手国実施機関：
農業畜産灌漑省灌漑水利局

事業期間：2016年11月～2018年4月
事業サイト：マンダレ-管区

ミャンマー国側に見込まれる成果

- 灌漑用水路の落差工に高効率の発電が可能で、維持管理の容易なマイクロ水力発電機を据え付けることにより村落電化が容易となる。
- 無電化地域の村落電化が進み、地方部での生活水準が向上する。
- 地方農村部での産業振興がすすむ。

日本企業側の成果

現状

- パワーアルキメデスを開発
- 国内での受注は伸びているが海外市場での成約は限られている。

今後

- ミャンマーでの実需を確認し、本事業での実証・普及活動を足掛かりにミャンマー市場への販売を促進する。
- 現地の経済事情に適応する低廉なモデルを開発し部品の現地生産等により競争力を高める。
- ミャンマーをベースに近隣諸国の市場開拓を進める。